

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	取穴実技1	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	東洋療法学校協会 経絡経穴概論						
担当教員情報							
担当教員	山下 俊樹			実務経験の有無・職種	有・鍼灸師		
学習目的							
鍼灸治療を行う上で必須となるツボの名称や取穴部位の再確認を行う。体表でのランドマークを確認し、正確なツボの位置を理解するとともに五要穴や五腧穴、その他ツボの役割や名称、解剖学的な深部組織との関係を整理し理解することを目的とする。							
到達目標							
1 年次に学んだ1 4 経絡について体表解剖を復習しながら、正確な取穴部位を理解していく。筋肉や動脈、神経の走行との関連を意識しながらツボの名称と筋骨格系の部位をリンクさせ総合的に理解・運用できるようになることを目標とし、各経脈の走行と体表解剖の理解、陰経・陽経の走行、全身の流注などを総合的に理解することを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	経脈ごとに西洋医学的な解剖的ポイント、深部組織などを復習しながら、経穴の取穴部位を確認していく。要穴の名称、役割、部位などを覚えながら、互いの体表でツボをとり、机上で覚えた知識を実際の臨床～刺鍼・灸などで運用できるようにトレーニングしていき、毎週授業の中で小テストを実施、前週に行った内容の再確認を行いながら、経穴に対する苦手意識をなくし、ツボの知識を積み上げていく。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	実技試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1 回～1 5 回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	オリエンテーション 手の太陰肺経			授業の進め方を理解、肺経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
2 回	手の陽明大腸経			大腸経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
3 回	足の陽明胃経①			胃経の流注と解剖、取穴部位を理解する（前半）			
4 回	足の陽明胃経②			胃経の流注と解剖、取穴部位を理解する（後半）			
5 回	足の太陰脾経			脾経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
6 回	手の少陰心経 骨度法			心経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
7 回	手の太陽膀胱経①			膀胱経の流注と解剖、（前半）取穴部位を理解する			
8 回	手の太陽膀胱経②			膀胱経の流注と解剖、（中半）取穴部位を理解する			
9 回	手の太陽膀胱経③			膀胱経の流注と解剖、（後半）取穴部位を理解する			
1 0 回	足の少陰腎経			腎経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
1 1 回	手の厥陰心包経			心包経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
1 2 回	手の少陽三焦経			三焦経の流注と解剖、取穴部位を理解する			
1 3 回	足の少陽胆経①			胆経（前半）の流注と解剖、取穴部位を理解する			
1 4 回	足の少陽胆経②			胆経（後半）の流注と解剖、取穴部位を理解する			
1 5 回	足の厥陰肝経			肝経の流注と解剖、取穴部位を理解する			